

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2016.10) 平成27年度:37.

救命救急センターにおける新人看護師の自己成長感向上への取り組み
ー目標シートを使用してー

金 誠治

救命救急センターにおける新人看護師の自己成長感向上への取り組み －目標シートを使用して－

旭川医科大学病院 救命救急センター

○金 誠治

【はじめに】救命救急センターでは新人看護師（以下新人）に対して院内新人教育プログラムに加えて「目標シート」（以下シート）を管理してもらい自発的・主体的に学ぶ姿勢に対してアプローチした。シートとは新人が必要と感じる自分の目標や修得を目指したいケアまたは技術をA4用紙1枚程度に表現し提示するものである。新人が目標を達成し自己成長する事を体感することによって、今後の看護師人生の礎となり早期離職・リアリティショック予防につながると考えられる。

【研究目的】シートを使用する事によって新人の自己成長感が向上するか示唆を得る。

【倫理的配慮】研究目的等を口頭で説明し同意書に署名し同意を得る。所属施設倫理委員会の承認を得た。

【方法】対象者：平成25年度新人6名 1. シートの運用や自己成長感が向上するかなどについてを23問、「自分の成長に役立っているか」自由記載回答1問の計24問の自記式質問紙法を実施。自由記載回答を内容分析しカテゴリー化 2. プリセプター会議のシートに関する意見を抜粋 3. 新人看護技術チェックリスト達成状況の把握。

【結果】1. アンケート結果（一部抜粋）「自分の不足している課題は見つけられたか」「目標設定ができたか」「自分の成長を感じることが出来たか」「自己成長に繋がっているか」など

の質問に全員がその通りまたはややその通りと答えている。自由記載回答の内容分析を実施した結果「自己成長の実感」「現状のフィードバック」「精神的支援」「悩みの共感・相談の機会」「看護実践の機会の提供」「同期との看護実践・知識の共有、同期の成長の把握」「将来の看護師像の形成」の7カテゴリーに分けられた 2. プリセプター会議より「本人が何を悩み何に困っているか把握でき対応できる」「新人の成長を実感できる」などの意見があった 3. 新人が1年間で達成を目指す技術37項目全てを全員が達成した。

【考察】アンケート結果より、シートは目標を設定し達成する事で新人自身が自己成長を実感している事が明らかとなった。新人時期に習得を目指す看護技術をすべて習得している事からシートを使用する事によって効果的な技術習得につながる事も示されている。シートには新人の支援者としてプリセプターの存在が大きく関与しており、サポートを受ける事で新人はより自分自身で不足している課題を認識し、目標を設定・達成する事でリアリティショックを乗り越え、自己成長の実感に繋がっているのではないかと考えられる。また、新人だけではなくプリセプターも新人の現状の把握や成長を感じるツールとして活用している事が明らかとなった。本研究の結果より、新人とプリセプターとの相互作用によってシートは効果的な運用に繋がると考えられるため、新人だけではなくプリセプターへの支援や両者の関係性にも配慮することが必要である。